

## 園でよくみられる感染症



園は乳幼児が集団で長時間生活する場です。感染症の集団発生や流行をできるだけ防ぐことで子どもたちが一日を快適に生活できるよう、

- ◎印のついている感染症については、登園許可書（医師記入）
- ○印のついている感染症については、登園届（保護者記入）の提出をお願いします。

「感染しやすい期間」に配慮し、子どもの健康回復状況が「集団での園生活が可能状態」となってからの登園であるようご配慮ください。

提出書類	病名	初期症状	感染しやすい期間	登園のめやす
◎	麻疹（はしか）	発熱、食欲不振、 口中や首に発疹	発症1日前～12日	解熱後3日経過 していること
◎	インフルエンザ	発熱、咳、頭痛、 関節痛	発症前24時間～ 発症後3日程度	発症後5日経過し、かつ 解熱後3日経過していること
◎	新型コロナウイルス感染症	発熱、呼吸器症状、 頭痛、倦怠感、鼻汁	発症後5日間	発症後5日経過し、かつ症 状が軽快した後1日を経過 すること ※無症状感染者の場合は、検体 採取日を0日目として、5日を 経過すること
◎	風しん	発熱、発疹 リンパ節の腫れ	発疹出現の 7日前～7日後	発疹が消失していること
◎	水痘(水ぼうそう)	発熱、発疹、水疱が 現れかさぶたになる	発疹出現1,2日前～ 痂皮形成まで	すべての発疹が痂皮 化していること
◎	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発熱、耳下腺(耳 たぶの下)の腫れ	発症3日前～ 耳下腺腫脹後4日	腫れが発現してから5日 経過し、かつ全身状態が 良好になっていること
◎	結核	咳、発熱が続き 呼吸が荒くなる	—	医師により感染の恐れが ないと認められていること
◎	咽頭結膜炎 (プール熱)	発熱、のどの腫れ 痛み	発熱、充血等の症状が 出現した数日間	主症状が消失後、2 日経過するまで
◎	流行性角結膜炎 (はやり目)	充血、目やに	充血、目やに等の症状が出 現した数日間	結膜炎の症状が 消失していること
◎	百日咳	特有な咳が特徴で、 連続性・発作性の咳が 長期に続く	抗菌薬を服用しない場合、 咳出現後3週間を経過する まで	特有の咳が消失してい ること。または、5日間の 適正な加療が終了してい ること
◎	腸管出血性大腸菌 感染症	腹痛、嘔吐、下痢、 血便、けいれん	—	医師により、感染の恐れが ないと認められていること
◎	急性出血性結膜炎	目の痛み、充血	—	
◎	髄膜炎菌性髄膜炎	発熱、頭痛、嘔吐	—	

提出書類	病名	初期症状	感染しやすい期間	登園のめやす
○	溶連菌感染症	発熱、扁桃炎、いちご舌	有効治療を開始する前と開始後1日間	有効治療後24~48時間が経過していること
○	マイコプラズマ肺炎	頑固な咳、発熱、頭痛	有効治療を開始する前と開始数日間	発熱や激しい咳が治まること
○	手足口病	手足に小さな水泡、口内炎	水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱や水疱・潰瘍の影響がなく普段の食事がとれること
○	伝染性紅斑(りんご病)	発熱、ほほに赤い発疹	発疹出現前1週間	全身状態が良いこと
○	ウイルス性胃腸炎(ノロ・ロタ・アデノウイルス等)※1	嘔吐、下痢	症状のある間と、症状消失後1週間	嘔吐・下痢等の症状が治まり普段の食事がとれること
○	ヘルパンギーナ	発熱、喉の痛み	急性期の数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
○	RSウイルス感染症	鼻水、咳、高熱、呼吸が荒くなる	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し全身状態が良いこと
○	ヒトメタニューモウイルス	鼻水、咳、発熱	呼吸器症状のある間	医師の指示に従う
○	帯状疱疹	皮膚の痛み、発疹水泡	水疱を形成している間	すべての発疹が痂皮化していること
○	突発性発疹	発熱、発疹	—	解熱し、機嫌が良く全身状態が良いこと

★感染しやすい期間を明確に提示できない感染症については(—)としている。

※1 ウイルス性胃腸炎

嘔吐物や下痢便で汚染された衣服については、当園で洗うと二次感染を起こす可能性が高くなりますので、保健所の指導によりそのままビニール袋に入れて保護者に持ち帰っていただくことになっています。

ご家庭で、衣類を廃棄せず洗濯する場合は、塩素系の消毒薬で消毒するか、お湯で消毒してから洗濯してください。

